

朝岡勝前理事長の辞任に関する経緯について

現在、東京基督教大学新学長選出手続きが進められており、近日中に公表される予定ですが、このたび、昨年以来の朝岡勝前理事長の辞任に関する経緯について、ご報告いたします。

2023年8月、東京キリスト教学園理事会は、朝岡勝理事長・学園長（当時）を、2024年4月からの新学長（理事長兼務）として発表いたしました。

それ以降、朝岡勝理事長は、次期学長として様々な改革に着手されましたが、激務が続き、2023年12月頃から心身の体調を崩され休養に入られました。その後、東京キリスト教学園常任理事会は、2024年1月5日に、朝岡勝理事長に2024年3月末をもつての東京キリスト教学園理事長職の辞任を求めることを決めました。これを受けて朝岡勝理事長は、3月に辞任届を提出され、理事会は、2024年3月26日にそれを承認いたしました。

一方、東京基督教大学学長職については、理事長退任後であっても朝岡勝理事長に就任いただくことを中心に検討を進めておりましたが、慎重な審議の結果、新たな学長候補者を立てることとなりました。

この間、関係者・支援者の皆様には、多大なご心配をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

朝岡勝先生には、2021年4月の理事長就任以来、学園財務体質の転換や経年課題の解決等に尽力くださいましたことを感謝申し上げます。また、朝岡勝先生には理事長・次期学長として大変なご負担をおかけしながら、それを適切にお支えすることができなかったこと、ご本人との合意形成が不十分なまま理事長職の辞任を求めることを決める等の対応により、さらなる心労を強いたことを遺憾に思い、当時の理事長代理、学長としてお詫び申し上げます。

本学は、新体制において、休むことなく改革にまい進いたします。皆様のより一層のご支援・ご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

2024年7月恵日

学校法人東京キリスト教学園理事長 廣橋信一
東京基督教大学学長代行 山口陽一